

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和3年5月12日(水)10時30分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條技術研究調査官、有吉上席安全審査官

小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他9名

5. 要旨

○原子力機構から、高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置第2段階に向けた検討状況について、配付資料に基づき説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料2-1について)

- ・2次系ナトリウムの搬出方法として検討している3案については、各々の案のメリット及びデメリットを整理して示すこと。
- ・2次系ナトリウムの搬出のために新たに設置する設備の耐震クラスについては、単に「設置許可申請書に記載された設計の考え方に基づく」とするのではなく、要求される安全機能を整理して、耐震クラスの設定に係る技術的な根拠を示すこと。

(資料2-2について)

- ・水、蒸気系等発電設備の解体に当たっては、2次系ナトリウムの搬出準備等他の廃止措置に係る作業と輻輳しないよう工程管理を確実に実施すること。

(資料2-3について)

- ・燃料池水の冷却を停止するための水温評価は、使用済み燃料が全て燃料池に入った状態での実測データが必要と考える。必要な実測データの取得期間を考慮し、申請時期を検討すること。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1 :もんじゅ廃止措置第2段階申請に向けた面談、監視チーム会合の進め方

資料2-1 :技術資料(No.3改訂1)①ナトリウム搬出準備 b.ナトリウム搬出に向けた設備の復旧・改造計画の策定(2次系ナトリウム・炉外燃料貯蔵槽2次補助系ナトリウム)(案)

資料 2 - 2 : 技術資料 (No. 6 改訂 1) その他 水・蒸気系等発電設備の解体計画の策定
(案)

資料 2 - 3 : 技術資料 (No. 11) その他 性能維持施設 (燃料池の水温評価) (案)